

こんにちは60号

2013. 9. 13

外国人のための防災教室

日時: 2013年6月16日(日) 12:45~16:30
参加者: 20名

災害を知る、災害を体験する、災害に備えることを目的に「横浜市民防災センター」へ行きました。職員の方の説明の後、今までに日本で起きた地震・台風などによる様々な天災が映像によって紹介されました。また、



体験するコーナーでは、現実には遭遇したことのない震度の地震、煙の充満した部屋、暗闇の中を無事に抜け出る体験をしました。学習者の感想は、「暗闇は本当に怖い」「煙も体験した事がなかったので興味があつた。」と好評でした。また、消火器の使い方、消防服の試着等普段出来ない貴重な体験を通し、災害時の対処の仕方を学びました。学習者は次回は家族やクラスメートと来たいと言っていました。



神奈川区役所 職員研修会:

「やさしい日本語」講座

7月25・26日 神奈川区役所会議室で区役所職員35名に講座を行いました。

神奈川区は横浜市内で外国籍区民が5番目に多く住んでおり、現在、「外国人に分かりやすい窓口サービスの提供」をテーマにいろいろな改善に取り組んでいます。

災害時の情報伝達のために生まれた外国人にわかりやすい「やさしい日本語」が、今後ますます必要とされてきています。

今回は、「やさしい日本語」を作る時のルールやポイント、外国人と話す際の注意点などについて、日頃の日本語教室から得た経験を紹介しました。



今回の職員研修を通して、外国人と地域の人々とのコミュニケーションがもう一歩前進することを願っています。

岡野 寿雄

ラウンジ夏休みオープンデー2013 日本語スピーチ

日時 2013年7月20日(日) 13:30~15:30
鶴見国際交流ラウンジ・鶴見中央コミュニティハウス・サルビアホールの三館合同のまつり

オープンして3年目の国際交流ラウンジで行われた「外国人による日本語スピーチ」に「こんにちは」

から日本語学習者2名が参加しました。インドネシアのジェリアナ・パルデデさんは「日本に来たきっかけ」というテーマで、看護師候補者として来日し、国家試験に合格するまでの努力と周囲のサポートへの感謝を語りました。

また、フィリピンのジョン・ポール・バラカスさんは「僕の夢」というテーマで、技術者として日本で働きながら日本語能力検定試験に挑戦したこと、帰国したら日本の技術をフィリピンに伝えたいという夢を語りました。

スピーチに先立ち、杉浦会長が映像を使って「こんにちは」の団体紹介をし、フリースペースでは活動紹介パネル展にも参加しました。

他の参加者のスピーチも日本語に対する熱い思いが詰まっていました。日本でこれから活躍しようとしている若い人たちの頑張りを応援したいものです。



「よこはま夢ファンド」へのご寄附のご報告

平成18年度より「よこはま夢ファンド」助成事業として「バス研修旅行」を実施して参りました。

平成24年度までの7年間、株式会社GNS取締役社長坂本潤様が「よこはま夢ファンド」を通して当会へ毎年40万円をご寄附くださいました。本当にありがとうございました。

また今年度は、FOM社会奉仕研究会主宰福田みほ様が同じく当会へ50万円ご寄附くださいました。

心より御礼申し上げます。

予定

バス研修旅行	10月20日(日) 8:00~18:30
茶道体験	11月16日(土) 13:00~15:30
秋学期報告会	11月22日(金)23日(土)
第3回理事会	12月 8日(日) 10:00~15:00

報告

春学期報告会
第2回理事会
秋学期準備会
テキスト印刷

7月19日(金)20日(土)
7月28日(日) 10:00~15:00
9月6日(金)7日(土)
9月7日(土)



金曜初級A：学習者6名。学習内容の理解・吸収が良く優秀で熱心だった。場面に応じて生きた日本語を話せるようになった。『ひらがなの書き』を宿題として、次週に提出、赤ペンで添削、返却、これを繰り返した。学習者の励みになり、文字もきれいに書けるようになった。



金曜読解A：学習者11名。後半は4～6名と少なくなった。レベル差はあったが、お互いに助け合う充実した教室だった。新規の学習者が熱心に取り組んでくれたことは、継続者の刺激にもなった。漢字の読み書きも皆一生懸命に、毎回楽しい雰囲気のできた。最終日には日本語検定を目指す話題も出て大いに盛り上がった。



土曜初級B：学習者7名。常時出席の4名は、非常に熱心で常に問題意識を持って授業に出席していた。復習もしっかりしてきて授業やタスクでの質問も多かった。ひらがなを一通り学習し終わり、耳で聞いた単語をホワイトボードに書くという練習は競ってやっていた。わからない単語をすぐに調べ、語彙を増やしており毎週進歩が見えた。



金曜初級B：学習者2名。子供連れで毎回30分遅れてくる学習者の対応に苦労した。後半に入会した1名は、5回しか通えなかったのが夏休みにボランティアの補習を受け秋学期は中級に進むと頑張っている。



春学期は71名(17カ国)の学習者が楽しく日本語を勉強しました。国別「ベスト3」は、インド(19名:27%)、中国(17名:24%)、フィリピン(15名:21%)と少し入れ替わりしました。特徴は、今年の3月～5月に来日したニューカマーが例年より多くなり、また、中東のシリア、イエメンからの初参加もありました。各クラスとも学習者の熱意に負けないように、いろいろ工夫しながら楽しい教室作りを実践し、日本語のレベルアップを支援しました。今学期「修了証書」を6名に授与しました。

日本語教室運営委員長 岡野 寿雄

土曜中級：学習者14名。クラスは明るくて、いつも笑いが絶えなかった。文法の質問をよくする人、ビールが好きな人などさまざまな人がいる割には良くまとまっていた。インドや中国からの会社員が多かった。仕事で使ってはいけない言い方や仕事で使うべき表現なども、今後は積極的に取り入れる必要があると思われる。



金曜中級：学習者9名、平均8～9割の出席。フィリピンの3名は帰国直前まで出席。全体的に授業に積極的に取り組む姿勢が強かった。学習者はほとんどが会社員で、カタカナを勉強した結果、最終日には自分の国と名前をホワイトボードに書けた。スタート時はレベル差がはっきり出ていたが、中盤から、その差が少し狭まったような印象だった。和気あいあいと楽しい授業展開をすることができた。



土曜初級A：学習者9名。全員が意欲的で出席率も良く、授業が進めやすかった。初めは小さな声だったが、繰り返し練習するうちに大きな声で答えることができるようになった。

授業で習ったことはしっかりと復習してきてクラス全体の日本語を話す力がめきめき伸びていったことを実感した。



土曜読解B：学習者13名。うち3名はレベルが合わず早々と来なくなった。また1名は職場変更で来られなくなった。7月7日にJLPTの試験を控えたせいか、何名かは後半欠席していた。休まず必ず出席する3名は努力家でコツコツ学習に



取り組んでいた。学習者に総合的な力をつけてもらいたい

とボランティアは工夫努力をしている。発話は自然にできるようになり、漢字も語彙が増えきれいに書けるようになった。

お知らせ

- * 日本語ボランティア入門講座
2013年9月4日(水)～2014年2月5日(水)
15:00～17:00(全16回)
- * 日本語ボランティアのための
ブラッシュアップ講座
2013年12月～2014年1月(全6回)